

ライセンス・マネージャ V2.01.00

ユーザーズ・マニュアル

対象デバイス

78K0 マイクロコントローラ

RL78 ファミリ

78K0R マイクロコントローラ

V850 ファミリ

RX ファミリ

RH850 ファミリ

本資料に記載の全ての情報は発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含まれます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品、本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、その他の不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、
家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、
金融端末基幹システム、各種安全制御装置等
当社製品は、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じて、当社は一切その責任を負いません。
6. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、当社製品および技術を、(1)核兵器、化学兵器、生物兵器等の大量破壊兵器およびこれらを運搬することができるミサイル（無人航空機を含みます。）の開発、設計、製造、使用もしくは貯蔵等の目的、(2)通常兵器の開発、設計、製造または使用の目的、または(3)その他の国際的な平和および安全の維持の妨げとなる目的で、自ら使用せず、かつ、第三者に使用、販売、譲渡、輸出、賃貸もしくは使用許諾しないでください。
当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
10. お客様の転売、貸与等により、本書（本ご注意書きを含みます。）記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は一切その責任を負わず、お客様にかかる使用に基づく当社への請求につき当社を免責いただきます。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
12. 本資料に記載された情報または当社製品に関し、ご不明点がある場合には、当社営業にお問い合わせください。

- 注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社がその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。
- 注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

このマニュアルの使い方

このマニュアルは、78K0 マイクロコントローラ、RL78 ファミリ、78K0R マイクロコントローラ、V850 ファミリ、RX ファミリ、および RH850 ファミリ用アプリケーション・システムを開発する際の開発環境のライセンス管理について説明します。

対象者 このマニュアルは、ルネサス エレクトロニクス製統合開発環境（CS+ および e² studio）を使用してアプリケーション・システムを開発するユーザを対象としています。

目的 このマニュアルは、ライセンス管理機能をユーザに理解していただき、CS+ および e² studio によるソフトウェア開発の参照用資料として役立つことを目的としています。

構成 このマニュアルは、大きく分けて次の内容で構成しています。

1. 概 説
2. 機 能
3. メッセージ

読み方 このマニュアルを読むにあたっては、電気、論理回路、マイクロコンピュータに関する一般知識が必要となります。

- 凡例
- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| データ表記の重み | : 左が上位桁, 右が下位桁 |
| アクティブ・ロウの表記 | : XXX (端子, 信号名称に上線) |
| 注 | : 本文中についた注の説明 |
| 注意 | : 気をつけて読んでいただきたい内容 |
| 備考 | : 本文中の補足説明 |
| 数の表記 | : 10 進数 ... XXXX
16 進数 ... 0xXXXX |

目次

1.	概 説	5
1.1	概 要	5
1.2	動作環境	8
2.	機 能	10
2.1	ライセンス・マネージャをインストールする	10
2.2	ライセンス・マネージャをアンインストールする	10
2.3	ライセンス・マネージャを使用する	11
2.3.1	ライセンスの使用状況を確認する	11
2.3.2	期間ライセンスの期限切れ通知を表示する	14
2.3.3	ノードロック・ライセンスを追加する	15
2.3.4	ノードロック・ライセンスを削除する	17
2.3.5	フローティング・ライセンスの初期設定を行う	18
2.3.6	フローティング・ライセンスを使用する	20
2.3.7	フローティング・ライセンスをオフライン使用モードで使用する	20
2.3.8	フローティング・ライセンスのオフライン使用モードを終了する	22
2.3.9	フローティング・ライセンス・サーバとのバージョン不一致の通知を表示する	23
2.3.10	フローティング・ライセンスのオプションを設定する	24
2.4	フローティング・ライセンス・サーバ変更時に再設定を行う	25
3.	メッセージ	26
3.1	メッセージ種別	26
3.2	内部エラー	27
3.3	フェイタル・エラー	27
3.4	インフォメーション	31
3.5	選 択	33
3.6	ワーニング	34
	改訂記録	C - 1

1. 概 説

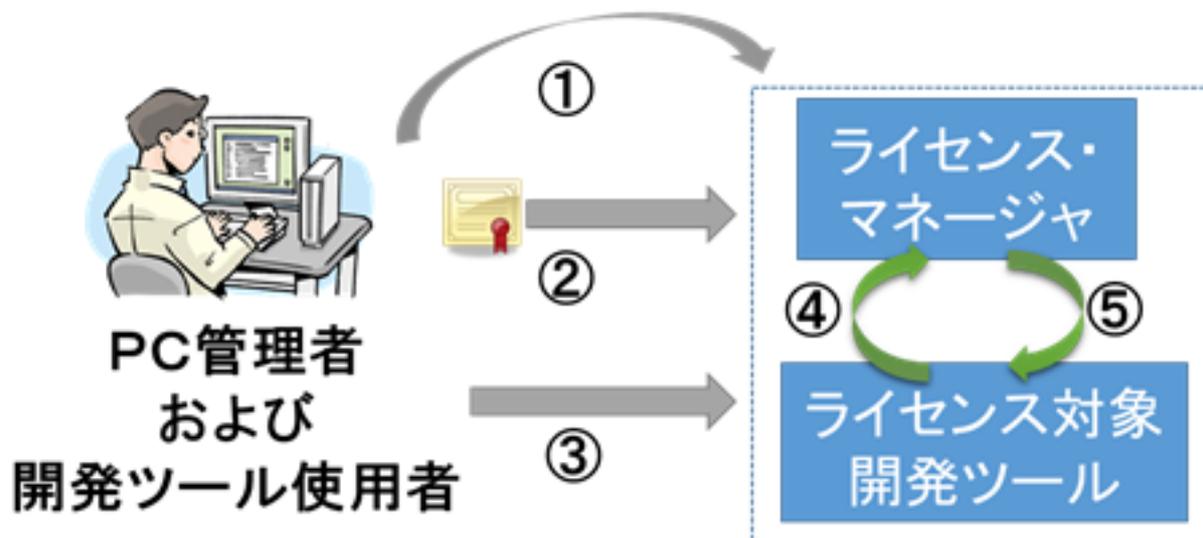
このマニュアルでは、マイクロコントローラ用アプリケーション・システムを開発する際の開発環境のライセンスを管理する方法について説明します。

1.1 概 要

ライセンス・マネージャは、ルネサス エレクトロニクス製マイコン用統合開発環境 CS+ および e² studio に関連するツールを使用するために必要なノードロック・ライセンスおよびフローティング・ライセンスを管理する機能を提供します。

ノードロック・ライセンスとは、ソフトウェアのライセンスをクライアントのライセンス・マネージャで管理し、ライセンス・キーを登録したクライアントで、リンク可能なコード・サイズ制限を解除するなど、ライセンスに対応した機能を使用することができるライセンス方式です。

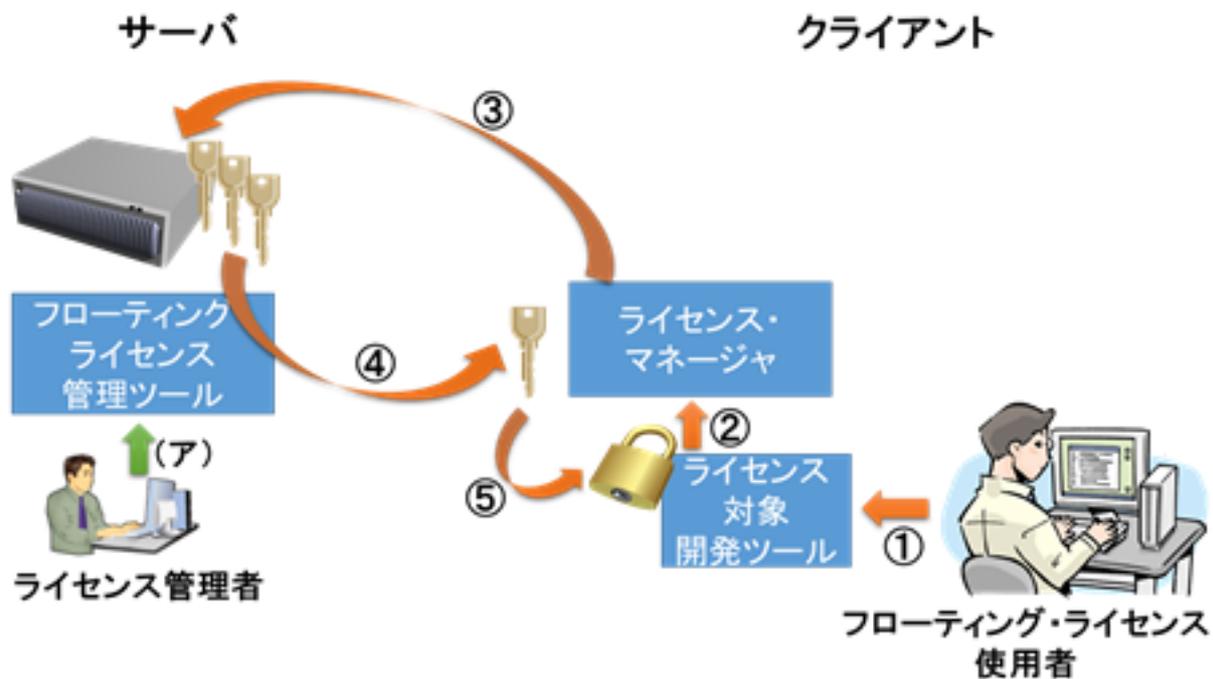
図 1.1 ノードロック・ライセンスのシステム構成



- ①開発ツールをインストール
- ②ライセンス・キー登録
- ③開発ツールを起動
- ④ライセンス確認
- ⑤ライセンスの有無

フローティング・ライセンスとは、ソフトウェアのライセンスをサーバで管理し、ネットワークに接続されたどのコンピュータでも、ライセンス数の範囲内でソフトウェアを使用することができるライセンス方式です。

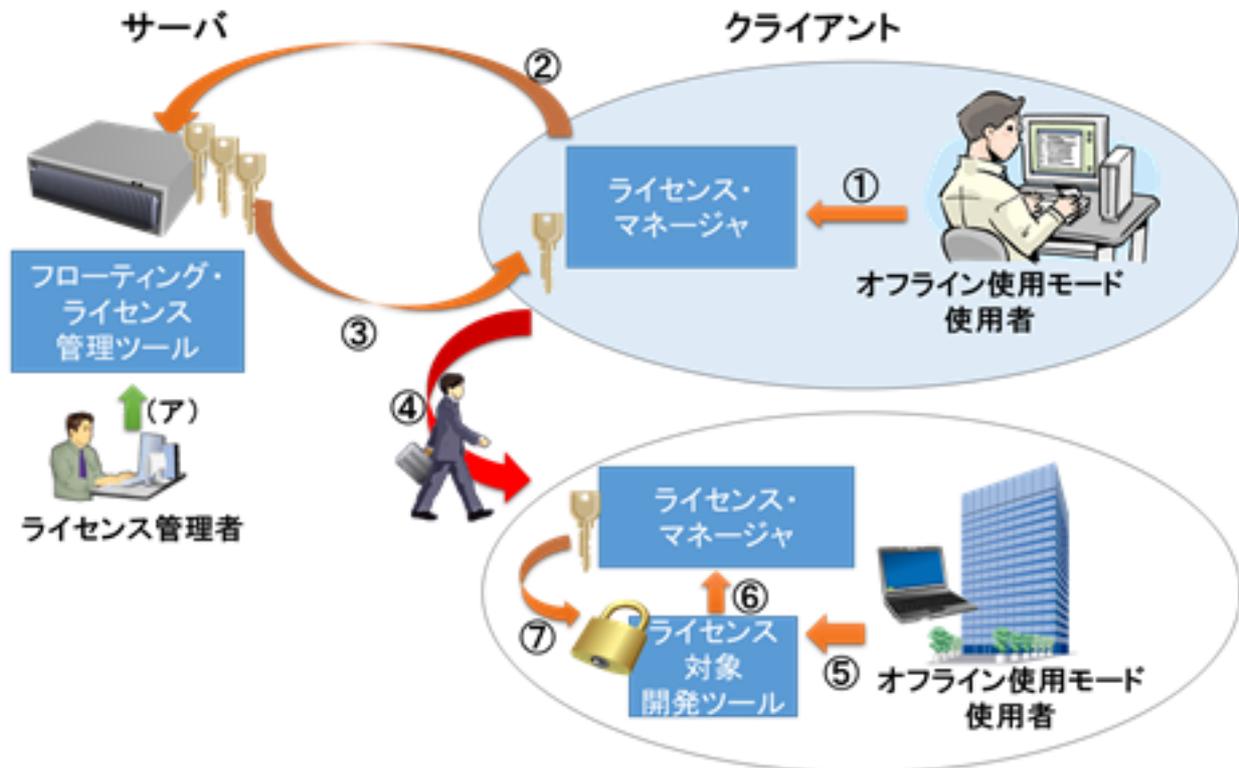
図 1.2 フローティング・ライセンスのシステム構成



- ①起動
- ②ライセンス要求
- ③フローティング・ライセンス要求
- ④フローティング・ライセンス付与
- ⑤ライセンス確認
- (ア)ライセンス・キー追加

フローティング・ライセンスは、ネットワーク上のサーバに接続された状態でなければ使用できません。ネットワーク環境から切断された状態でライセンスを使用するために、一定期間ライセンスを占有する仕組みがオフライン使用モードです。

図 1.3 オフライン使用モードのシステム構成



- ①フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）要求
- ②フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）要求
- ③フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）付与
- ④持ち出し
- ⑤起動
- ⑥ライセンス要求
- ⑦ライセンス確認
- (ア)ライセンス・キー追加

ノードロック・ライセンスおよびフローティング・ライセンスには、1年間の使用期限が設定された期間ライセンスがあります。使用期限を過ぎた期間ライセンスではライセンス対象の開発ツールは使用できません。期限の有無を区別するため、期間ライセンスには「(annual)」, 期限のないライセンスには「(permanent)」を付けて表記します。

- ノードロック・ライセンス (permanent)
- ノードロック・ライセンス (annual)
- フローティング・ライセンス (permanent)
- フローティング・ライセンス (annual)

1.2 動作環境

ライセンス・マネージャは、以下の環境で動作します。

- ハードウェア
 - プロセッサ 1GHz 以上
 - メイン・メモリ 最低 1G バイト (64 ビット版 Windows は最低 2G バイト), 2G バイト以上推奨
 - ディスプレイ 1024×768 以上の解像度, 65536 色以上
- OS
 - Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット), Professional および Enterprise
 - Windows 8.1 (32 ビットおよび 64 ビット), Pro および Enterprise
 - Windows 10 (32 ビットおよび 64 ビット), Pro および Enterprise
- ランタイムライブラリ
 - .NET Framework 4.5.2
- 開発環境
 - ノードロック・ライセンス (permanent)
 - CA850
 - CX
 - CA78K0
 - CA78K0R
 - CC-RL
 - CC-RX
 - CC-RH
 - ノードロック・ライセンス (annual)
 - CC-RL V1.01.00 以降
 - CC-RX V2.03.00 以降
 - CC-RH V1.02.00 以降
 - フローティング・ライセンス (permanent および annual)
 - CC-RL V1.01.00 以降
 - CC-RX V2.03.00 以降
 - CC-RH V1.02.00 以降
- 対応ライセンス
 - RL78,78K License Pack 1 (CA78K0R,CA78K0)
ノードロック・ライセンス (permanent)
 - V850 License Pack 1 (CA850,CX)
ノードロック・ライセンス (permanent)
 - RL78 License Pack 1 (CC-RL) 以降
 - Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)
 - Standard 版ノードロック・ライセンス (annual)
 - Standard 版フローティング・ライセンス (permanent)
 - Standard 版フローティング・ライセンス (annual)
 - Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)
 - Professional 版ノードロック・ライセンス (annual)
 - Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)
 - Professional 版フローティング・ライセンス (annual)
 - Upgrade 版ノードロック・ライセンス (permanent)
 - RX License Pack 1 (CC-RX)
ノードロック・ライセンス (permanent)

- RX License Pack 2 Professional (CC-RX) 以降
 - Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)
 - Standard 版ノードロック・ライセンス (annual)
 - Standard 版フローティング・ライセンス (permanent)
 - Standard 版フローティング・ライセンス (annual)
 - Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)
 - Professional 版ノードロック・ライセンス (annual)
 - Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)
 - Professional 版フローティング・ライセンス (annual)
 - Upgrade 版ノードロック・ライセンス (permanent)
- RH850 License Pack 1 (CC-RH) 以降
 - Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)
 - Standard 版ノードロック・ライセンス (annual)
 - Standard 版フローティング・ライセンス (permanent)
 - Standard 版フローティング・ライセンス (annual)
 - Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)
 - Professional 版ノードロック・ライセンス (annual)
 - Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)
 - Professional 版フローティング・ライセンス (annual)
 - Upgrade 版ノードロック・ライセンス (permanent)

Upgrade 版ノードロック・ライセンス (permanent) と、Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent) をライセンス・マネージャに登録することで、Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent) の機能を使用できます。

注意 Upgrade 版ノードロック・ライセンス (permanent) は、Standard 版フローティング・ライセンスや、Standard 版ノードロック・ライセンス (annual) との組み合わせでは使用できません。

2. 機 能

この章では、ライセンス・マネージャの使用方法について説明します。

2.1 ライセンス・マネージャをインストールする

CS+, または言語ツール単体パッケージのインストーラに同梱されているライセンス・マネージャをインストールします。

自動的にインストール準備画面が表示されます。表示されない場合は、CDのルート・ディレクトリにある"Setup.exe"をダブルクリックしてください。

注意 ライセンス・マネージャのインストールを行う場合、管理者権限が必要となります。

2.2 ライセンス・マネージャをアンインストールする

ライセンス・マネージャをアンインストールする場合は、コントロール・パネルの [プログラムと機能] から、「Renesas MCU Tools License Manager」を選択してください。

注意 ライセンス・マネージャのアンインストールを行う場合、管理者権限が必要となります。

2.3 ライセンス・マネージャを使用する

インストールしたライセンス・マネージャの使用方法を説明します。

2.3.1 ライセンスの使用状況を確認する

ライセンス・マネージャ ウィンドウを起動すると、ライセンス・エリアに有効な登録済みライセンスのリストが表示されます。

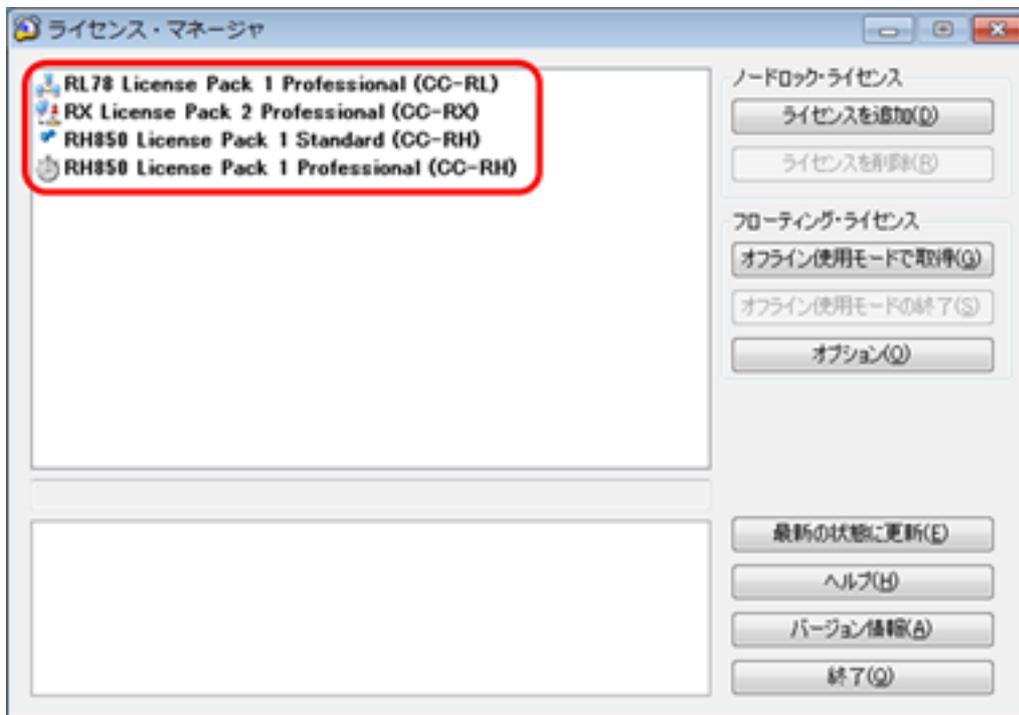
ライセンス・マネージャ ウィンドウは下記の方法で起動します。

- スタート・メニューの [すべてのプログラム] → [Renesas Electronics Utilities] → [Renesas License Manager] を選択します。

備考 Windows 8.1 の場合は、スタート画面の [Renesas License Manager] を選択してください。

ライセンス・マネージャ ウィンドウがオープンします。

図 2.1 ライセンス・マネージャ ウィンドウ



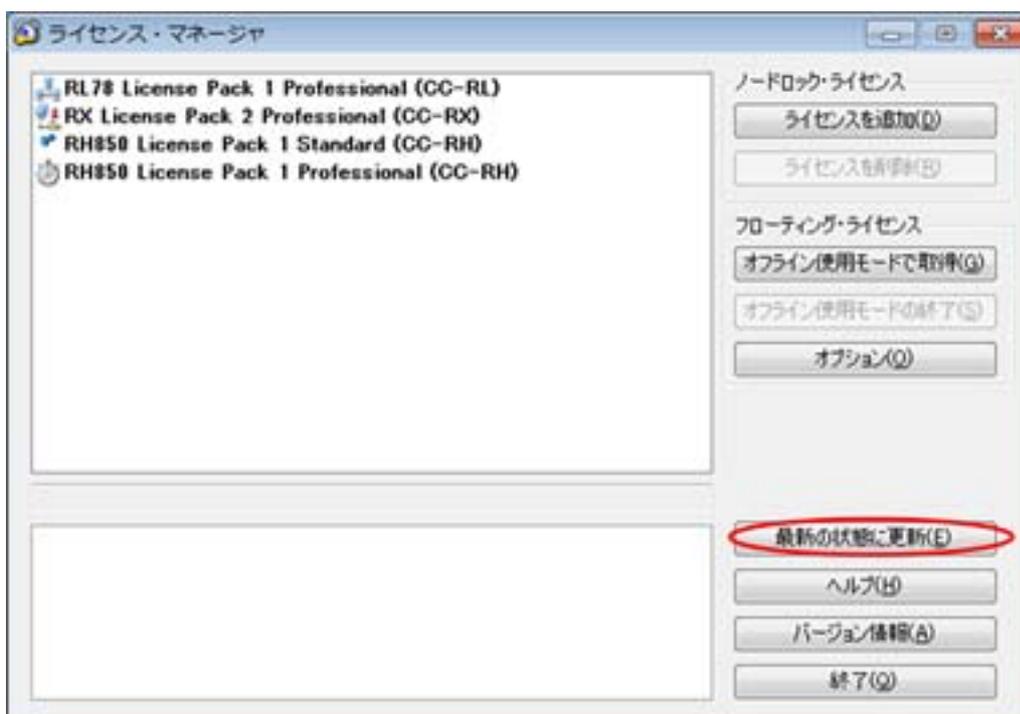
使用中のライセンスはライセンス名が太字で表示され、左側に使用状況を示すアイコンが表示されます。

	ノードロック・ライセンス (permanent) として使用中です。
	ノードロック・ライセンス (annual) として使用中です。
	ノードロック・ライセンス (annual) として使用中です。(使用期限が近づいています。)
	ノードロック・ライセンス (annual) の使用期限を過ぎたため使用できません。

	<p>フローティング・ライセンスとして使用中です。</p>
	<p>フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）として使用中です。</p>

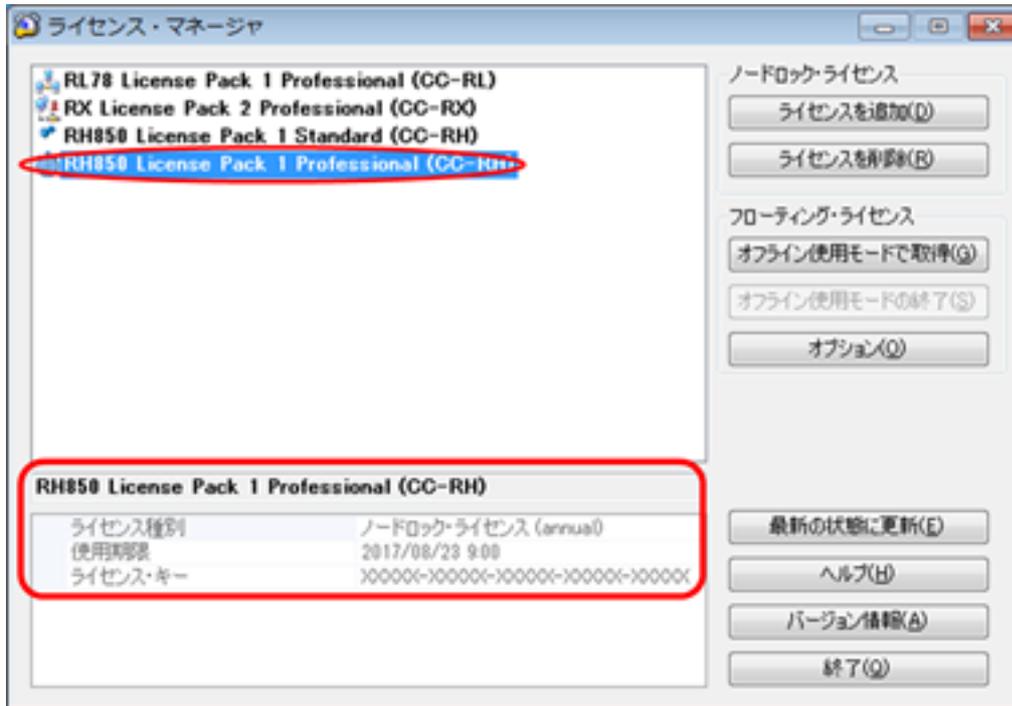
表示内容が古い場合は「最新の状態に更新」をクリックして表示を更新します。

図 2.2 使用状況の表示を更新



また、ライセンス名を選択すると、下部にライセンスの使用状況が表示されます。

図 2.3 使用状況の詳細



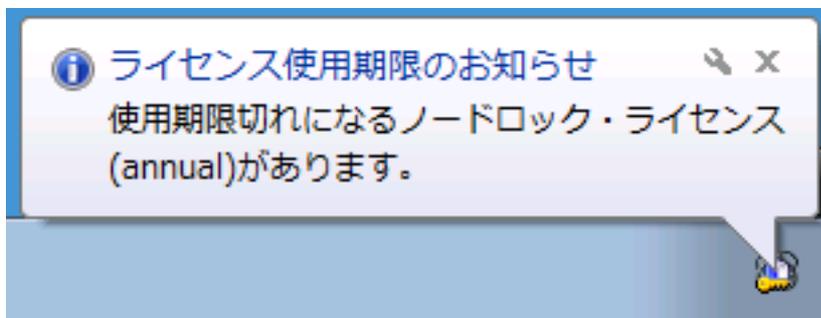
ライセンスが使用できない場合、コンパイラの使用に以下の制限が生じます。

コンパイラ	仕様・性能	試用期限
CC-RL CC-RX CC-RH	<p>試用期限内は製品版（professional 版）と同じ。 試用期限を過ぎると各 MCU により以下の制限があります。</p> <p>[RH850 ファミリ] リンク・サイズを 256K バイト以内に制限しています。 professional 版の機能は使用できません。</p> <p>[RX ファミリ] リンク・サイズを 128K バイト以内に制限しています。 professional 版の機能は使用できません。</p> <p>[RL78 ファミリ] リンク・サイズを 64K バイト以内に制限しています。 professional 版の機能は使用できません。</p>	<p>60 日 初めて評価版ソフトウェアツールをインストールした後、最初にビルドを行った日から 60 日間の試用期間があります。 試用期間内は、機能に制限はありません。 61 日目以降は、リンク・サイズ、professional 版の機能が制限されます。</p>
CA78K0 CA78K0R CA850 CX	<p>無償評価版では各 MCU により以下の制限があります。</p> <p>[V850 ファミリ] 生成できるプログラム・サイズは、256KB までです。</p> <p>[RL78 ファミリ, 78K0R, 78K0] 使用可能なメモリの範囲は内部 ROM の 64KB(0-FFFFh) と内部 RAM に制限しています。</p>	<p>なし (リンク・サイズは制限されます。)</p>

2.3.2 期間ライセンスの期限切れ通知を表示する

期限切れの近づいた期間ライセンスを、 アイコンおよび  バルーンヘルプを表示して通知します。

図 2.4 期間ライセンス期限通知アイコン



 アイコンまたは  バルーンヘルプをクリックすると、期限切れのライセンス情報を表示します。

通知を行う期間ライセンスは、期限切れ 1ヶ月前、2 週間前、1 日前を迎えた期間ライセンスで、それぞれ 1 回ずつ通知を行います。

ただし、通知を表示する前により短い期限を迎えた場合はスキップします。(例 :1ヶ月前の通知を表示する前に期限切れ 2 週間を迎えた場合は、1ヶ月前の通知をスキップして 2 週間前の通知を行います。また、1 日前の通知を表示する前に期限切れを迎えた場合は、すでに期限切れとなったことを通知します。)

2.3.3 ノードロック・ライセンスを追加する

ライセンス・マネージャ ウィンドウの [ライセンスを追加] ボタンをクリックし、ノードロック・ライセンスを追加ダイアログのテキスト・ボックスに、ライセンス・キーを入力して、[追加] ボタンをクリックすることによりライセンスが追加されます。

図 2.5 ライセンス・マネージャ ウィンドウ

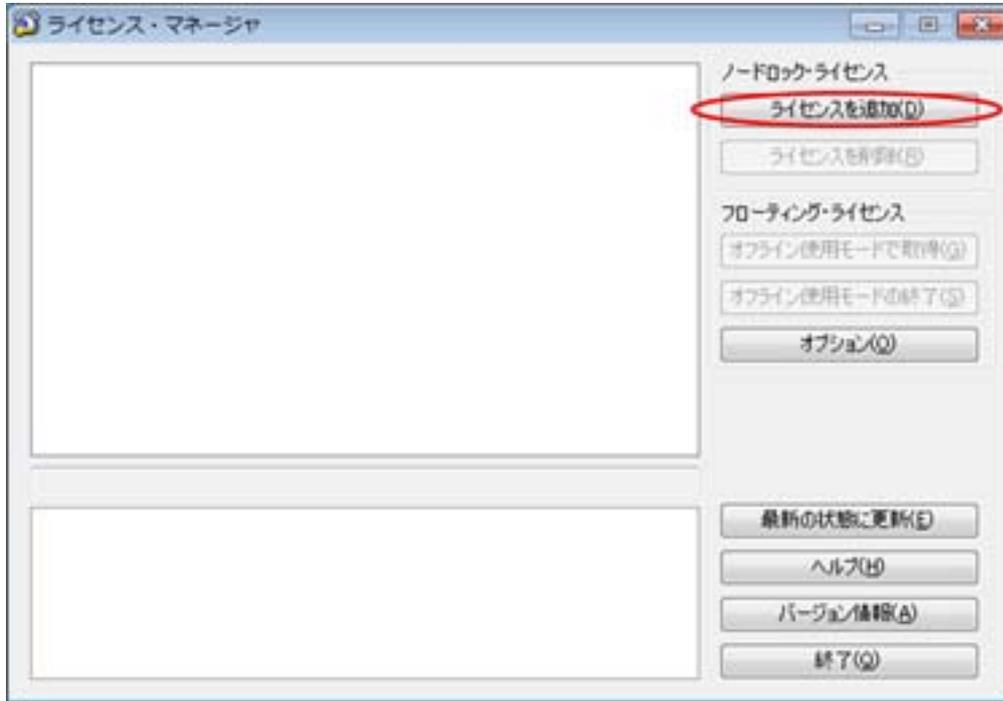
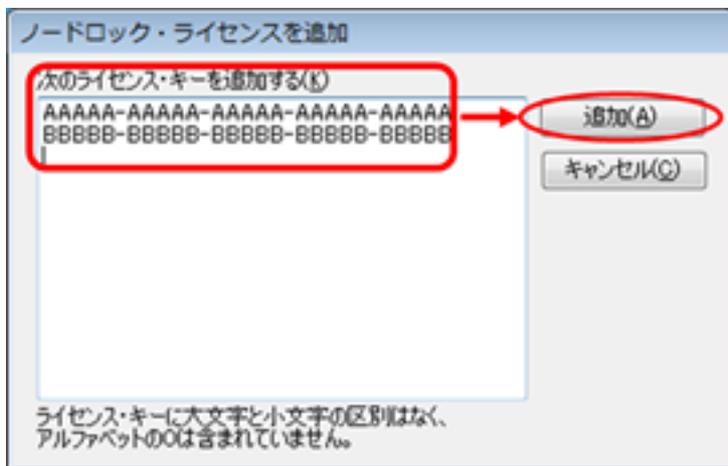
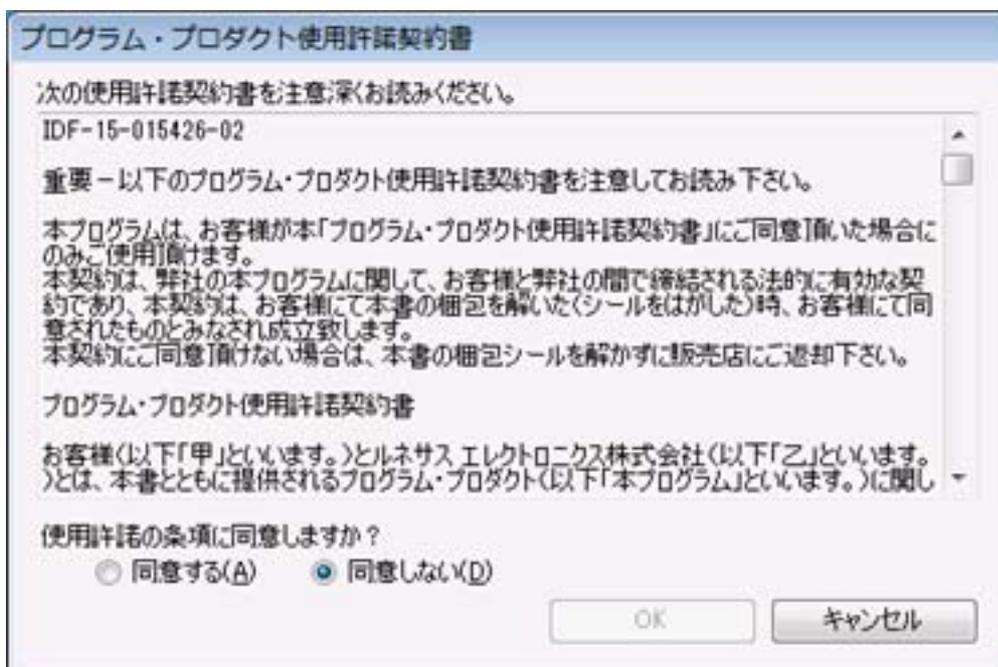


図 2.6 ノードロック・ライセンスを追加 ダイアログ



追加するライセンスに対応する使用許諾契約書に同意したことがない場合は、プログラム・プロダクト使用許諾契約書 ダイアログが表示されます。

図 2.7 プログラム・プロダクト使用許諾契約書 ダイアログ

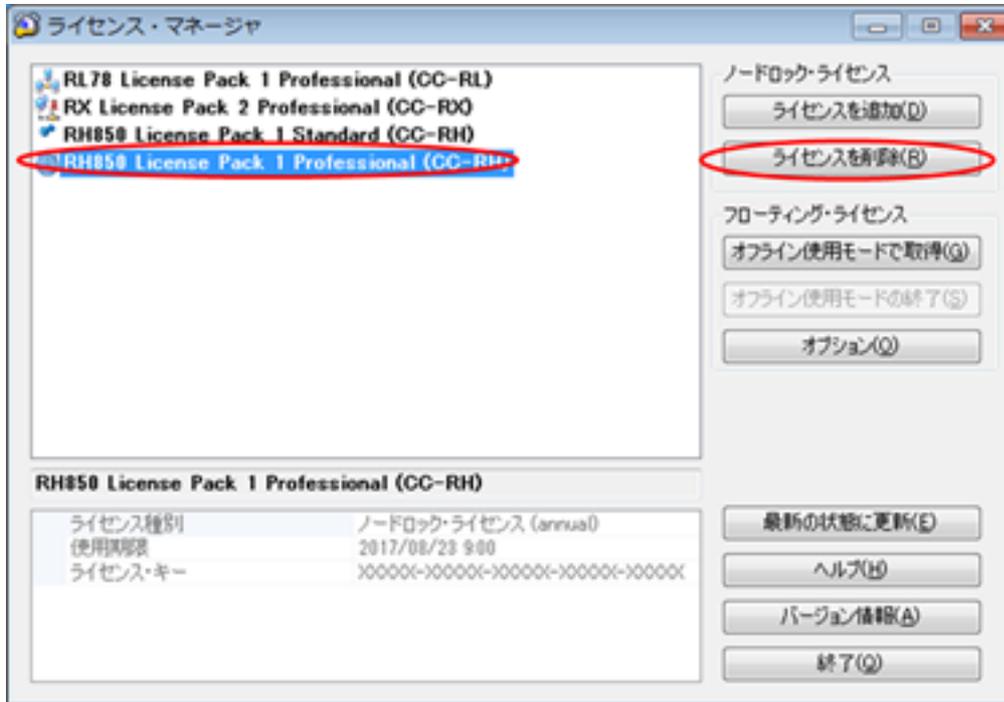


[同意する] を選択して [OK] ボタンをクリックすることによりライセンスが追加されます。

2.3.4 ノードロック・ライセンスを削除する

ライセンス・マネージャ ウィンドウのライセンス・エリアに表示されているリストから、削除したいノードロック・ライセンスを選択し、[ライセンスを削除] ボタンをクリックすることにより、ライセンスの削除が行われます。

図 2.8 ライセンス・マネージャ ウィンドウ



2.3.5 フローティング・ライセンスの初期設定を行う

フローティング・ライセンスを使用するには初期設定が必要です。

注意 クライアントの初期設定は、サーバの初期設定が完了した後に行ってください。

- (1) フローティング・ライセンスのオプション ダイアログを開く
ライセンス・マネージャウィンドウで [オプション] ボタンをクリックします。

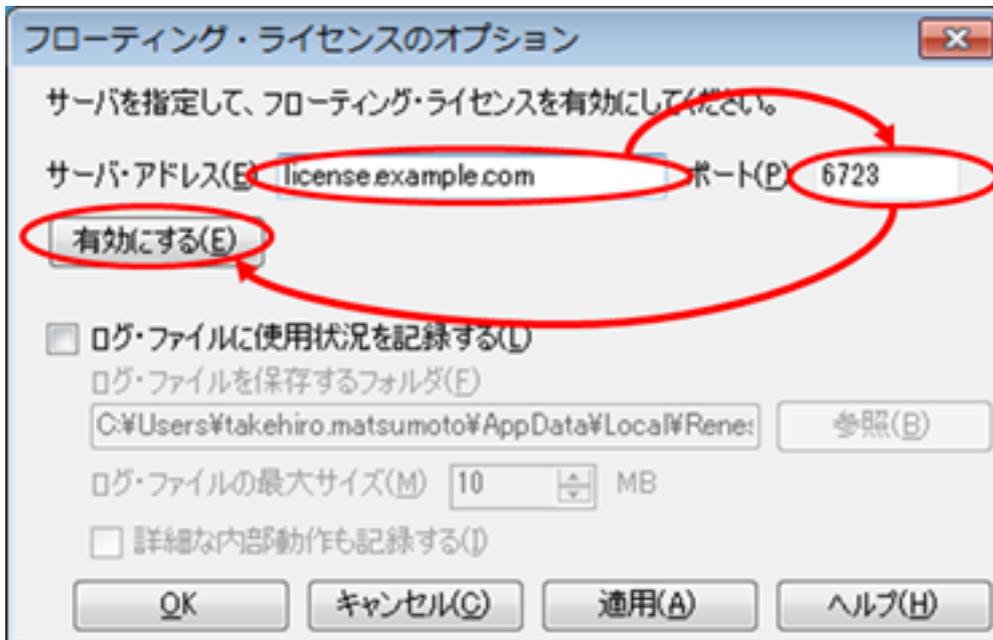
図 2.9 フローティング・ライセンスのオプション ダイアログを開く



フローティング・ライセンスのオプション ダイアログがオープンします。

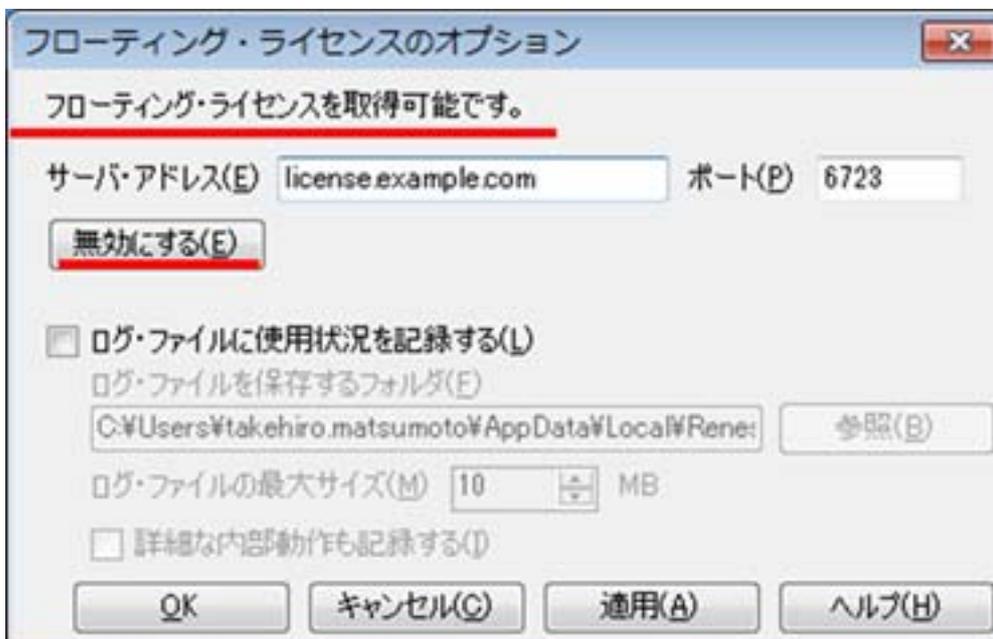
- (2) サーバに接続する
 [サーバ・アドレス] に、ライセンス・サーバの IP アドレス（例：192.168.0.1）またはホスト名（例：license.example.com）を、[ポート] にライセンス・サーバ管理者が設定したポート番号を入力します。設定内容はライセンス・サーバ管理者に確認してください。入力完了後、[有効にする] ボタンをクリックしてください。

図 2.10 フローティング・ライセンスのオプション ダイアログ（無効）



ライセンス・サーバへの接続に成功すると、以下の図のように表示が変わります。

図 2.11 フローティング・ライセンスのオプション ダイアログ（有効）



[OK] ボタンをクリックしてダイアログをクローズします。

2.3.6 フローティング・ライセンスを使用する

フローティング・ライセンスを使用するために特別な操作は必要ありません。

ライセンス対象のソフトウェアを起動すると、自動的にフローティング・ライセンスを取得します。有効期限はライセンスの取得から 30 分です。

取得したライセンスは、有効期限が切れると自動的にサーバに返却されます。返却後にライセンスが必要になった場合も、ライセンス対象のソフトウェアが自動的にフローティング・ライセンスを再取得します。

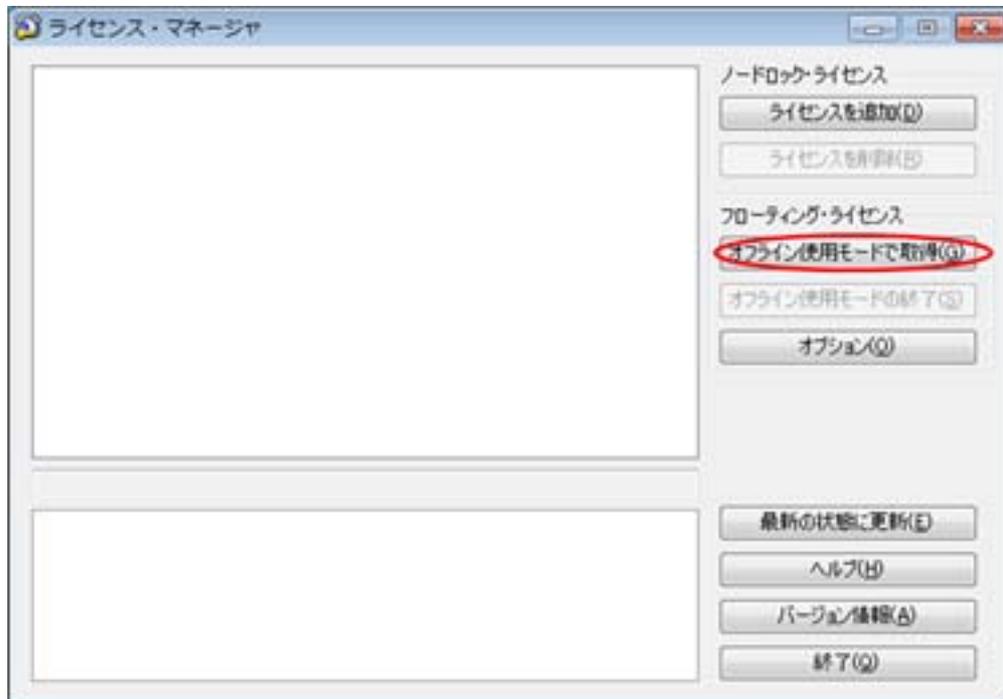
2.3.7 フローティング・ライセンスをオフライン使用モードで使用する

フローティング・ライセンスは、ネットワーク上のサーバに接続された状態でなければ使用できません。

ネットワーク上のサーバに接続された状態でフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）を取得すると、ネットワーク環境から切断された状態でも一定期間ライセンスを占有することができます。

- (1) オフライン使用モードで取得 ダイアログを開く
ネットワーク上のサーバに接続された状態で、[オフライン使用モードで取得] ボタンをクリックします。

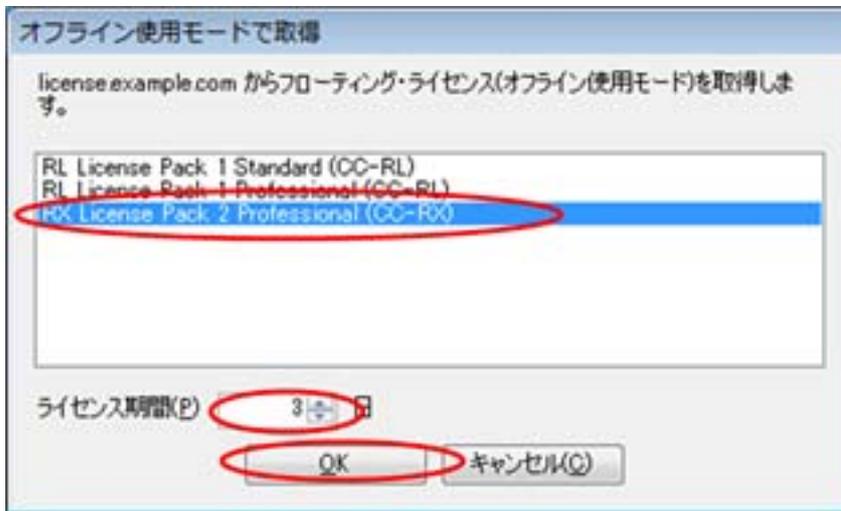
図 2.12 フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）取得前のライセンス・マネージャ ウィンドウ



オフライン使用モードで取得 ダイアログがオープンします。

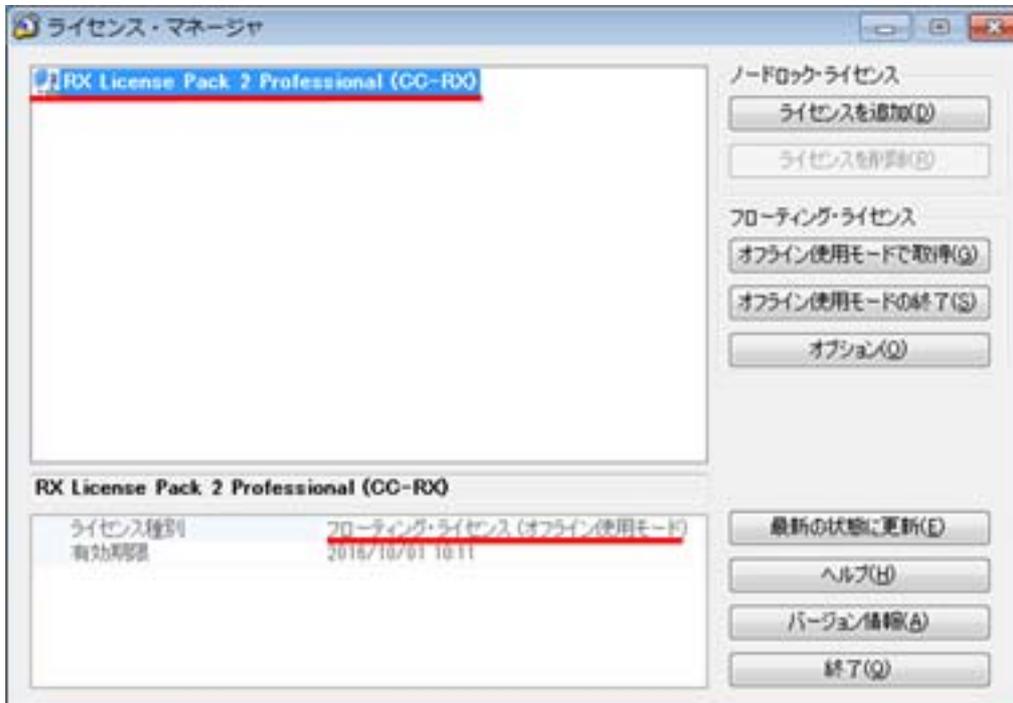
- (2) ライセンス名を選択し、期間を入力する
 ライセンス名を選択し、[ライセンス期間] にオフライン使用モードの期間（最大 99 日）を入力して [OK] をクリックします。

図 2.13 オフライン使用モードで取得 ダイアログ



サーバからフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）を取得し、ライセンス・マネージャ ウィンドウが更新されます。
 オフライン使用モードが有効な期間は、ライセンス・サーバへ接続できない状況でも引き続きライセンスを使用できます。

図 2.14 フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）取得後のライセンス・マネージャ ウィンドウ



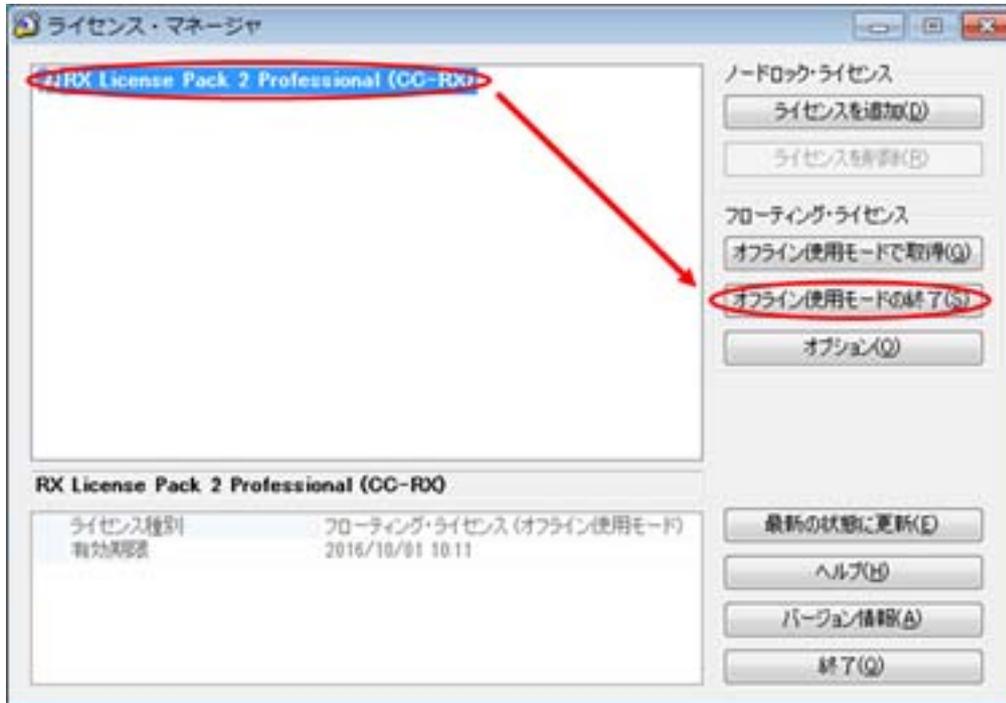
取得したフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）は、有効期限が切れると自動的にサーバに返却されます。

2.3.8 フローティング・ライセンスのオフライン使用モードを終了する

取得したフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）は、有効期限が切れると自動的にサーバに返却されますが、有効期限が切れる前に返却し、オフライン使用モードを終了することもできます。

ネットワーク上のサーバに接続された状態で、ライセンス・マネージャ ウィンドウでライセンス名を選択し、[オフライン使用モードの終了] ボタンをクリックします。

図 2.15 フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）使用中のライセンス・マネージャ ウィンドウ



サーバにフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）が返却され、ライセンス・マネージャ ウィンドウが更新されます。

図 2.16 フローティング・ライセンス（オフライン使用モード）終了後のフローティング・ライセンス ウィンドウ



2.3.9 フローティング・ライセンス・サーバとのバージョン不一致の通知を表示する

フローティング・ライセンス・サーバとのバージョン不一致を、 アイコンおよび  バルーンヘルプを表示して通知します。

図 2.17 ライセンス・マネージャバージョン通知アイコン

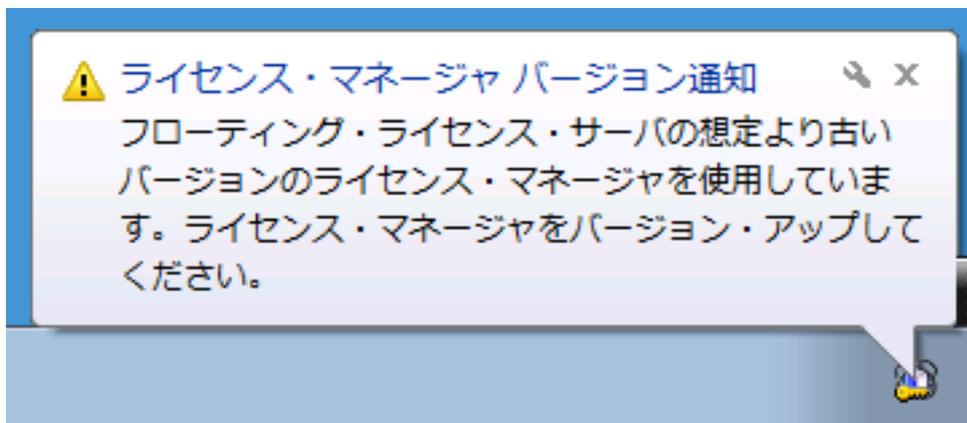
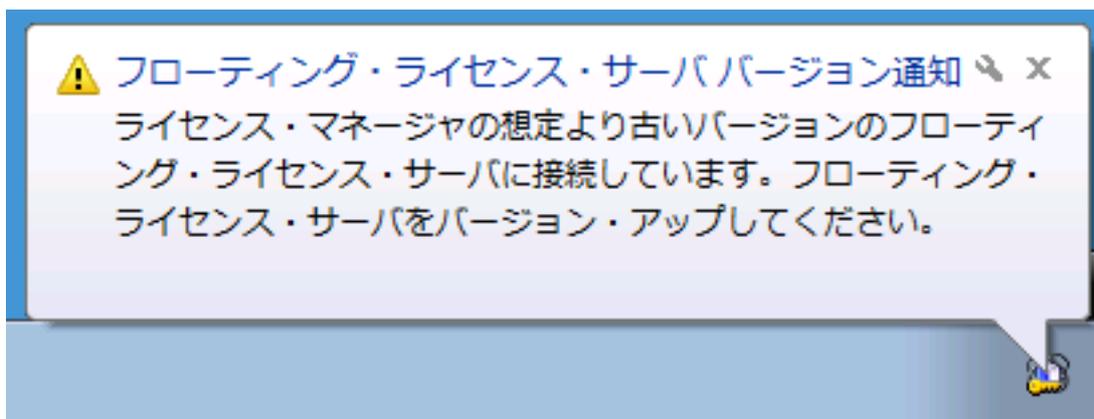


図 2.18 フローティング・ライセンス・サーババージョン通知アイコン

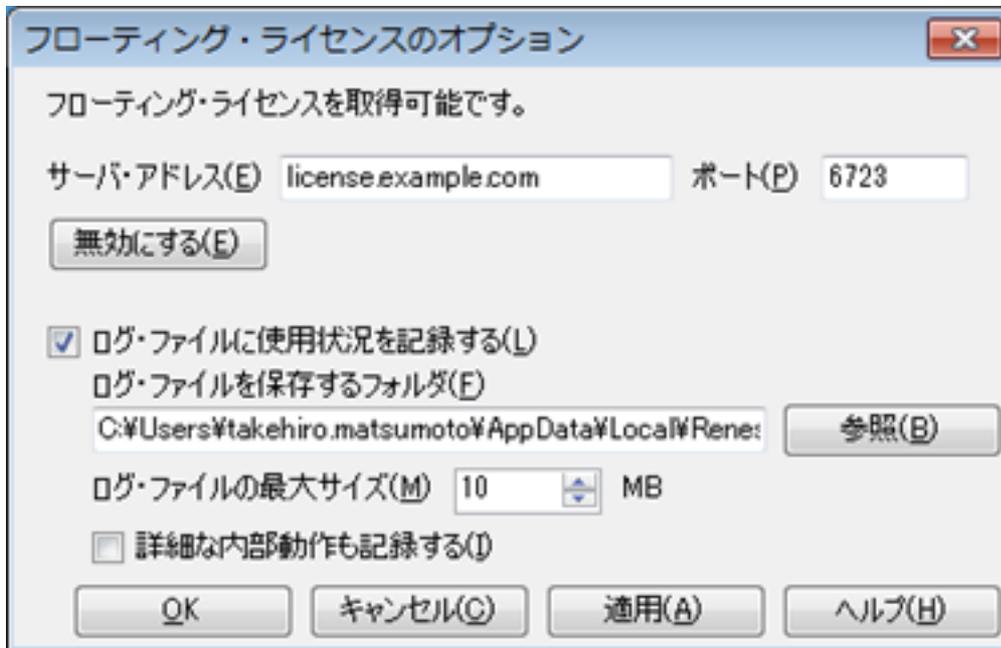


 アイコンまたは  バルーンヘルプをクリックすると、メッセージダイアログを表示します。

2.3.10 フローティング・ライセンスのオプションを設定する

フローティング・ライセンスの、その他のオプションについて説明します。
ライセンス・マネージャ ウィンドウで、[オプション] ボタンをクリックします。
フローティング・ライセンスのオプション ダイアログがオープンします。

図 2.19 フローティング・ライセンスのオプション ダイアログ



このダイアログで、以下のオプションを設定できます。

- [ログ・ファイルに使用状況を記録する] テキスト・ボックス
チェックありの場合は、ログ・ファイルにライセンスの使用状況を記録します。チェックなしの場合はログ・ファイルを保存しません。
- [ログ・ファイルを保存するフォルダ] テキスト・ボックス
ログ・ファイルを保存するフォルダのパスを指定します。
[参照] ボタンをクリックすると、フォルダ選択 ダイアログでフォルダを指定できます。
ログ・ファイル名は、"FloatingLicense.xxx.log" (xxx は 3 桁の数値) という形式になります。3MB 毎にファイル名の数値部分を変更してログを記録します。
- [ログ・ファイルの最大サイズ] スピン・ボックス
ログ・ファイルの最大サイズを指定します。最大サイズに到達した直後のログを記録するときに、最も古いログ・ファイルを削除してファイル・サイズを本設定のサイズ以内に保ちます。
- [詳細な内部動作も記録する] チェック・ボックス
チェックありの場合は、プログラムの内部動作も記録します。チェックなしの状態では、クライアントからの要求とその応答のみ記録します。

2.4 フローティング・ライセンス・サーバ変更時に再設定を行う

故障や移動によりサーバに変更があった場合は、フローティング・ライセンスのオプション ダイアログの [サーバ・アドレス] と [ポート] を再設定してください。設定変更後、既存のフローティング・ライセンスはすべて無効になります。

3. メッセージ

この章では、フローティング・ライセンスが出力する内部エラー・メッセージ、フェイタル・エラー・メッセージ、インフォメーション・メッセージ、選択メッセージ、ワーニング・メッセージについて説明します。
メッセージはメッセージダイアログ、またはログ・ファイルなどに出力されます。

3.1 メッセージ種別

フローティング・ライセンス操作時におけるメッセージ種別（1文字の英字）は、次のように分類されています。

表 3.1 メッセージ種別

メッセージ種別		説明
C	内部エラー	内部エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。
E	フェイタル・エラー	フェイタル・エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。
M	インフォメーション	情報を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。
Q	選択	次の操作に対して何らかの選択が必要な場合に出力し、選択した処理を実行します。
W	ワーニング	警告を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。

3.2 内部エラー

表 3.2 内部エラー

C0171000	[メッセージ]	内部エラーが発生したためライセンスの取得に失敗しました。 XXX
C0171001	[メッセージ]	内部エラーが発生したためライセンス要求の送信に失敗しました。 XXX
C0171002	[メッセージ]	内部エラーが発生したためライセンス要求の送信に失敗しました。
C0171003	[メッセージ]	内部エラーが発生したためライセンス要求に応答できません。 XXX
C0190000	[メッセージ]	デバイスの指定が不正です。
C0190001	[メッセージ]	XXX が空です。
C0190002	[メッセージ]	XXX が大きすぎます。
C0190003	[メッセージ]	XXX が小さすぎます。

3.3 フェイタル・エラー

表 3.3 フェイタル・エラー

E0172000	[メッセージ]	ライセンスの取得がタイムアウトしました。
E0172001	[メッセージ]	コマンドライン・オプションが不正です。
E0172002	[メッセージ]	ライセンス・ファイルの読み込みに失敗しました。
E0172003	[メッセージ]	オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 XXX
E0172004	[メッセージ]	オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 XXX
E0172005	[メッセージ]	オプション・ファイルの保存に失敗しました。 XXX
E0172006	[メッセージ]	オプション・ファイルの保存に失敗しました。 XXX
E0172007	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。 XXX
E0172008	[メッセージ]	サーバ・アドレスまたはポートの設定が不正です。 XXX
E0172009	[メッセージ]	ライセンス情報の保存に失敗しました。 XXX
E0172010	[メッセージ]	サーバ・アドレスまたはポートの設定が不正です。 XXX
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172011	[メッセージ]	ライセンス・サーバからの応答を受信できませんでした。 XXX
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。

E0172012	[メッセージ]	CSV ファイルの保存に失敗しました。 XXX
E0172013	[メッセージ]	ログ・ファイルが見つかりませんでした。
E0172020	[メッセージ]	ライセンス・サーバからの応答が不正です。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172021	[メッセージ]	ライセンス・サーバからの応答が不正です。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172022	[メッセージ]	ライセンス・サーバにライセンスの空きがありません。
E0172023	[メッセージ]	ライセンス・サーバにライセンスの空きがありません。 上位のライセンスに空きがあります。
E0172024	[メッセージ]	ライセンス・サーバが、不正なサーバへの接続と応答を返しました。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログでフローティング・ライセンスを無効にし、再度有効にしてください。
E0172025	[メッセージ]	ライセンス・サーバが、不明なクライアントからの接続と応答を返しました。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログでフローティング・ライセンスを無効にし、再度有効にしてください。
E0172026	[メッセージ]	ライセンス・サーバの時刻との差が大きすぎます。
	[対処方法]	PC の時刻を確認してください。問題がない場合は、ライセンス・サーバ管理者にサーバの時刻に問題がないか確認してください。
E0172027	[メッセージ]	ライセンス・サーバが不明なライセンスと応答を返しました。
	[対処方法]	ライセンス・サーバのバージョンが古い可能性があります。ライセンス・サーバ管理者に確認してください。
E0172028	[メッセージ]	ライセンスは有効期限切れです。
E0172040	[メッセージ]	ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。 XXX
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172041	[メッセージ]	ライセンス・サーバへの接続がタイムアウトしました。
	[対処方法]	<ul style="list-style-type: none"> - フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 ライセンス・サーバ管理者に、フローティング・ライセンスが有効になっているか確認してください。 - ライセンス・サーバ上のファイアウォールで通信がブロックされている可能性があります。ライセンス・サーバ管理者に、クライアントからの通信を許可しているかどうか確認してください。 - クライアント上のパーソナルファイアウォールなどのセキュリティソフトにブロックされている可能性があります。フローティング・ライセンスのオプションダイアログで指定したポートへの通信を許可してください。

E0172042	[メッセージ]	ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスに間違いがないか確認してください。解決しない場合は、IP アドレスで指定してください。
E0172043	[メッセージ]	ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 ライセンス・サーバ管理者に、フローティング・ライセンスが有効になっているか確認してください。
E0172044	[メッセージ]	ライセンス・サーバが接続を拒否しました。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172045	[メッセージ]	ライセンス・サーバがエラーコード (XXX) を返しました。
	[対処方法]	フローティング・ライセンスのオプション ダイアログで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172046	[メッセージ]	プロキシサーバへの接続に失敗しました。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。
	[対処方法]	コントロール・パネルの [インターネット オプション] で、プロキシサーバを経由しないように設定してください。設定内容は、ネットワーク管理者に確認してください。
E0172047	[メッセージ]	プロキシサーバへの接続に失敗しました。
	[対処方法]	コントロール・パネルの [インターネット オプション] で、プロキシサーバを経由しないように設定してください。設定内容は、ネットワーク管理者に確認してください。
E0174010	[メッセージ]	オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 XXX
E0174011	[メッセージ]	オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 XXX
E0174012	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。 XXX
E0174013	[メッセージ]	ライセンス情報の保存に失敗しました。 XXX
E0174014	[メッセージ]	サービスの開始に失敗しました。 XXX
E0174015	[メッセージ]	クライアントからの要求を受信できませんでした。 XXX
E0174016	[メッセージ]	クライアントからの要求が不正です。
E0174017	[メッセージ]	ライセンスの空きがありません。
E0174018	[メッセージ]	ライセンスの空きがありません。 上位のライセンスに空きがあります。
E0174019	[メッセージ]	サーバの指定が不正です。
E0174020	[メッセージ]	不明なクライアントからの要求です。
E0174021	[メッセージ]	クライアントの時刻との差が大きすぎます。
E0174022	[メッセージ]	不明なライセンスの要求です。

E0174023	[メッセージ]	ライセンスは有効期限切れです。
E0174100	[メッセージ]	無効なライセンス・キーです。 XXX
E0174101	[メッセージ]	このライセンス・キーはすでに登録されています。 XXX
E0174102	[メッセージ]	使用中のライセンスは削除できません。 XXX
E0180000	[メッセージ]	無効なライセンス・キーです。
E0180001	[メッセージ]	XXX このライセンス・キーはすでに登録されています。
E0182000	[メッセージ]	ライセンス情報を XXX に書き込めませんでした。
E0190000	[メッセージ]	ライセンス・マネージャの起動に失敗しました。
E0190001	[メッセージ]	ライセンス・マネージャの起動に失敗しました。 ライセンス情報を保存するフォルダが見つかりません。

3.4 インフォメーション

表 3.4 インフォメーション

M0190000	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。 もう一度ライセンス・キーを入力してください。
M0190010	[メッセージ]	フローティング・ライセンス・サーバの想定より古いバージョンのライセンス・マネージャを使用しています。 ライセンス・マネージャをアップデートしてください。
M0190011	[メッセージ]	ライセンス・マネージャの想定より古いバージョンのフローティング・ライセンス・サーバに接続しています。 フローティング・ライセンス・サーバをアップデートしてください。
M0191000	[メッセージ]	Critical Error : XXX
M0191100	[メッセージ]	Critical Error : XXX
M0191200	[メッセージ]	Error : XXX
M0191300	[メッセージ]	Error : XXX
M0191400	[メッセージ]	Warning : XXX
M0191500	[メッセージ]	Warning : XXX
M0191600	[メッセージ]	Required license : XXX
M0191601	[メッセージ]	Local license found.
M0191602	[メッセージ]	Needs renewal.
M0191603	[メッセージ]	Expired.
M0191604	[メッセージ]	Invalid.
M0191605	[メッセージ]	Released.
M0191606	[メッセージ]	Upper level licesne : XXX
M0191607	[メッセージ]	Get new licesne : XXX
M0191608	[メッセージ]	Supported : XXX licenses
M0191700	[メッセージ]	Request : XXX
M0191701	[メッセージ]	Add client : XXX
M0191702	[メッセージ]	Delete client : XXX
M0191703	[メッセージ]	Client unknown.
M0191704	[メッセージ]	Server id is invalid.
M0191705	[メッセージ]	Target license is empty.
M0191706	[メッセージ]	Upper level license is available
M0191707	[メッセージ]	Assigned license (XXX/XXX) : XXX
M0191708	[メッセージ]	Expired license : (XXX/XXX) : XXX
M0191709	[メッセージ]	Released license : (XXX/XXX) : XXX
M0191800	[メッセージ]	Command : XXX
M0191801	[メッセージ]	Getting license : XXX
M0191802	[メッセージ]	Connecting : XXX

M0191803	[メッセージ]	Getting upper level license : XXX
M0191804	[メッセージ]	Getting supported licenses : XXX
M0191805	[メッセージ]	Getting license as offline mode : XXX
M0191806	[メッセージ]	Releasing license : XXX
M0191900	[メッセージ]	Starting service.
M0191901	[メッセージ]	Starting HTTP listener.
M0191902	[メッセージ]	Received HTTP request.
M0191903	[メッセージ]	Received next request.
M0191904	[メッセージ]	Getting license list.
M0191950	[メッセージ]	Stop service.
M0191951	[メッセージ]	Stop HTTP listener.
M0191952	[メッセージ]	Bad HTTP request.
M0191953	[メッセージ]	Unknown request.
M0191954	[メッセージ]	Unkown client.
M0191955	[メッセージ]	Invalid server ID.
M0191956	[メッセージ]	Invalid : XXX
M0191957	[メッセージ]	Released : XXX

3.5 選 択

表 3.5 選択

Q0174110	[メッセージ]	オフライン使用モードの強制終了は、クライアント PC の故障などにより、クライアントからオフライン使用モードの終了ができなくなったときに使用します。通常は、クライアントからオフライン使用モードを終了してください。 続行しますか？
----------	---------	---

3.6 ワーニング

表 3.6 ワーニング

W0190002	[メッセージ]	XXX からライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。
W0190003	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。

改訂記録

Rev.	発行日	改定内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.06.01	-	初版発行

ライセンス・マネージャ V2.01.00 ユーザーズマニュアル

発行年月日 2017年 6月 1日 Rev.1.00

発行 ルネサス エレクトロニクス株式会社
〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 (豊洲フォレシア)



ルネサス エレクトロニクス株式会社

営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス株式会社 〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 (豊洲フォレシア)

技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<https://www.renesas.com/contact/>

ライセンス・マネージャ V2.01.00



ルネサスエレクトロニクス株式会社

R20UT4075JJ0100